



議長  
ふじえ ひさこ  
藤江 久子

## 議長の抱負

平成7年4月高山市議会議員選挙に初当選して以来、早いもので22年の月日が流れました。一度落選も経験し、今期で5期目を務めさせていただいています。

初当選した平成7年、女性議員は私一人きり、真っ赤なスーツに身を包み、初めて一般質問をした日のことは今も脳裏から離れません。

市町村合併を経て、124人の議員が36人に、更に今では24人になりましたが、女性議員は2人です。男女共同参画が叫ばれ続けましたが、当時と大きな変化はありません。

私の立候補の動機は「政策決定の場に、女性の声を！」でした。その間バリアフリーの概念の導入や、高齢者福祉の推進、障がい児者のケアシステムの構築など、主に福祉畑を開拓してきました。

しかし、少子高齢化の波は怒涛のごとく押し寄せています。それは、子育てを経験した者の声が22年前と変わらず、政策決定の場に届いていないことを意味します。

このような中、第84代議長を拝命しました。「市民の困りごとや夢や希望に寄り添う議会」を目指したいと思います。また「女性限定の意見交換会を開催」し、同じ価値観や困り事をもつ者が集まり深い意見交換をする中で、有効な少子化対策を見出したいと思っています。この二つの事、実現のため努力いたします。その節は、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



副議長  
なかおさ ひろゆき  
中箴 博之

## 副議長の抱負

市議会議員として10年、まさか副議長に就任するとは考えてもいませんでしたので、今、大きな緊張感に包まれています。

議会改革の最終目標は市民の幸福であって、議会を活性化させることが市民の利益につながらなくては意味がないと捉えています。

型にはめて議員の活動を狭めるような改革でも、パフォーマンスや改革度ランキングにこだわる自己満足でもなく、機関としての議会が緊張感あるバランス感覚を保ちつつ市長と対峙し、その接点のなかで全体最適を探ることこそ議会のあるべき姿だと考えます。

議員として与えられた4年の任期も折り返し地点、議会の評価や議員定数・報酬など議会改革の積み残し課題についてもキチンと議論を尽くして、ある程度の方向性を打ち出す必要があり、今年度は踏ん張りどころでもあります。

未来志向で高山市議会初の女性議長である藤江議長を支え、時には意見しながら、全力で職責をまっとうしたいと考えています。

皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 所信表明会を実施

高山市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会をめざして、正副議長選挙の際は、正副議長になろうとする者が、議会運営について自らの考えを表明する所信表明会を行っております。

今回は、議長選挙では藤江久子議員が、副議長選挙では、中箴博之議員が所信表明を行いました。その様子は、CATV中継やインターネット配信を行いました。

